

ブーズ・アンド・カンパニー

中国におけるグローバル製造業への調査結果概要

アンケート実施概要

本調査

期間: 2008年8月から9月

対象: 中国で操業する外国資本の製造業108社

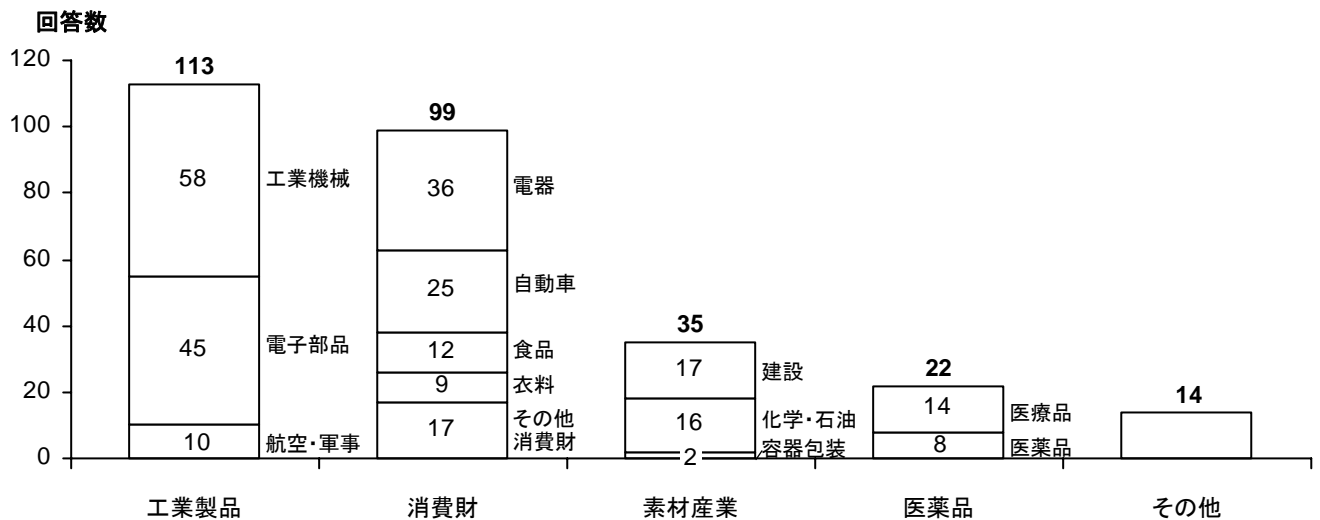
追跡調査

期間: 2008年12月

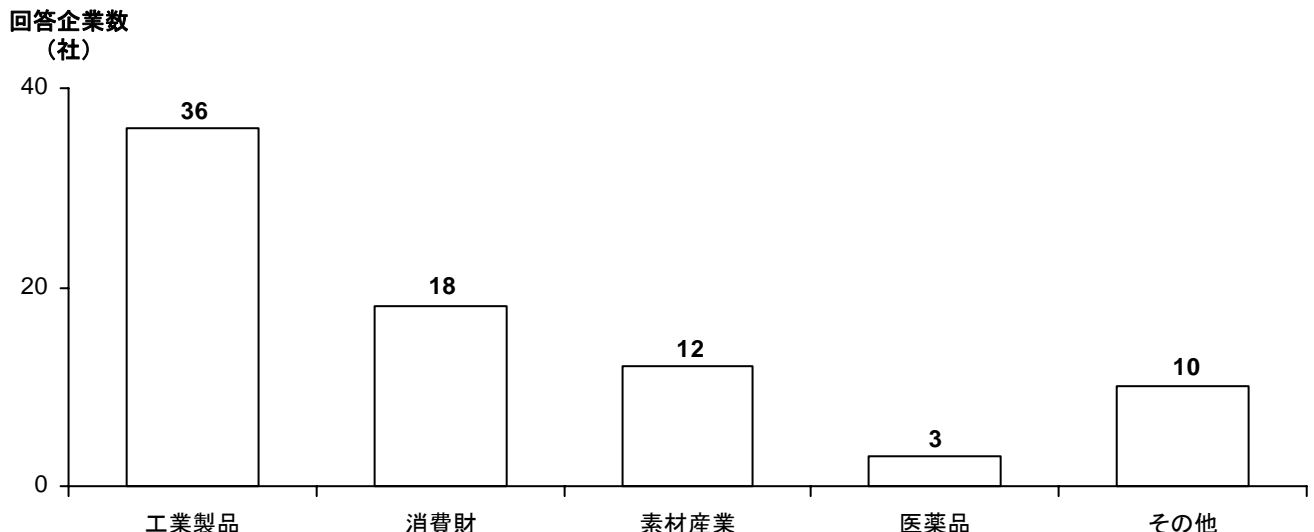
対象: 本調査を実施した企業のうち79社

【本調査対象企業の業種】（複数回答あり）

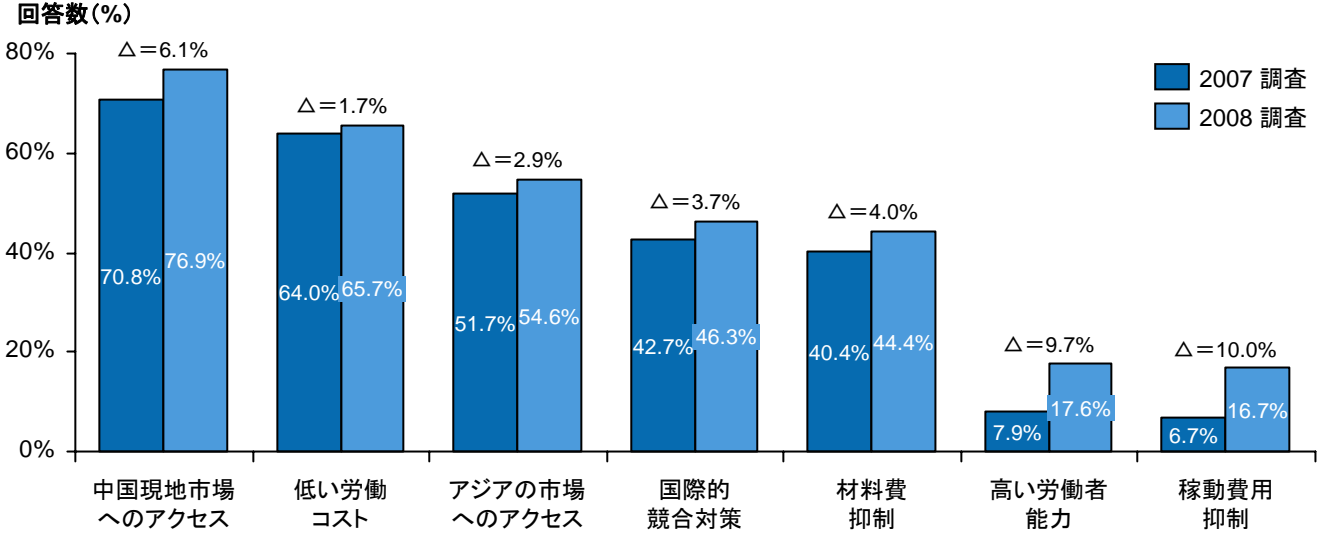
在上海米国商工会議所とその他9つの外国商工会議所の会員の中から108社が回答。回答企業の多くが米国に本社を有する。8割は完全に外国資本。



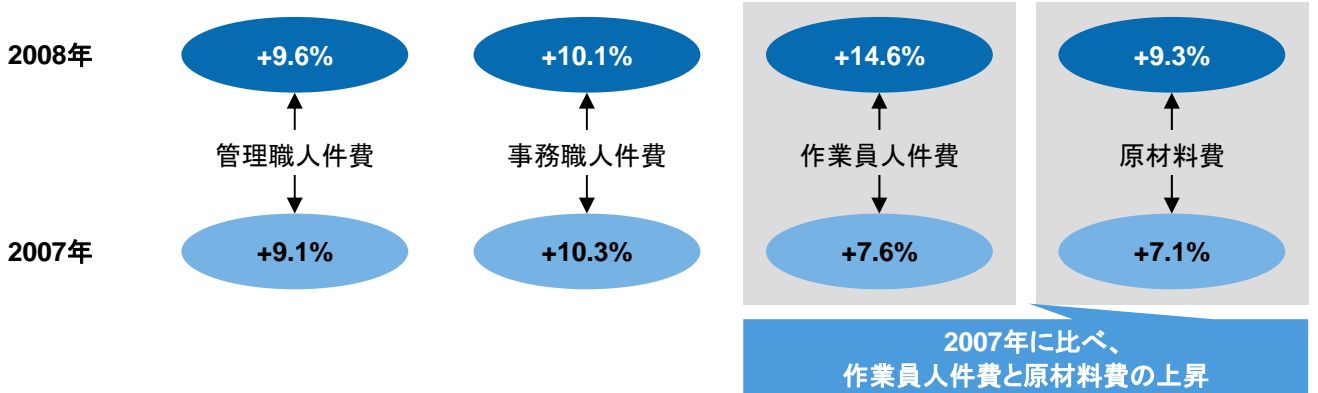
【追跡調査対象企業の業種】（単一回答）



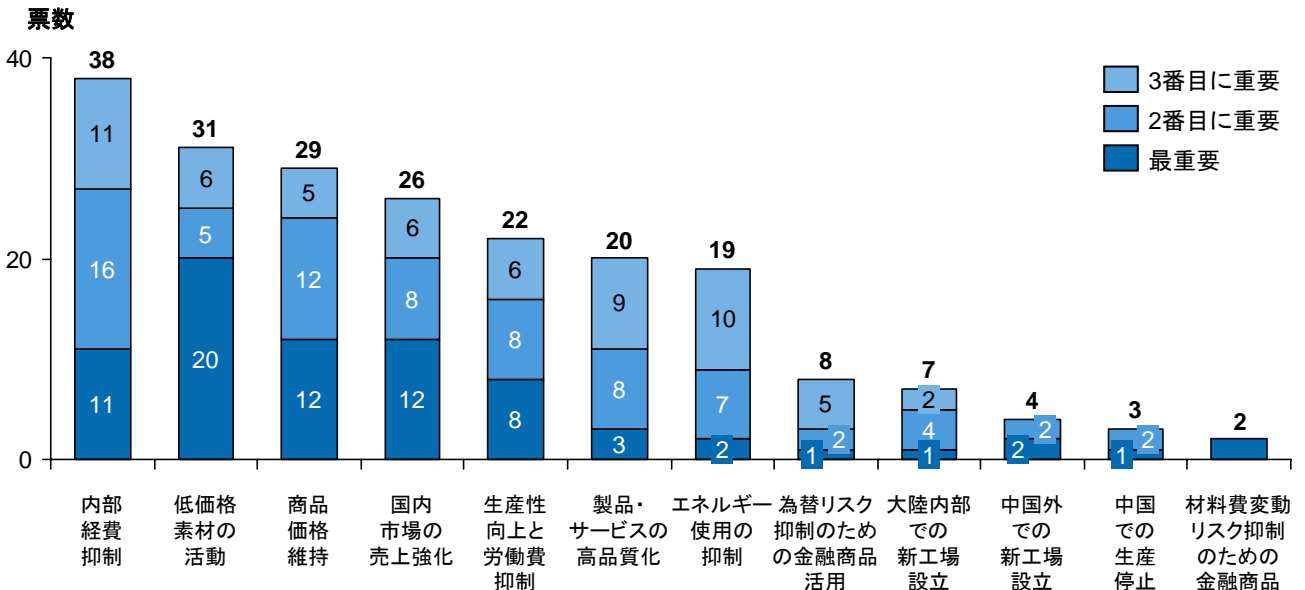
【中国でのビジネスの動機】（複数回答あり）



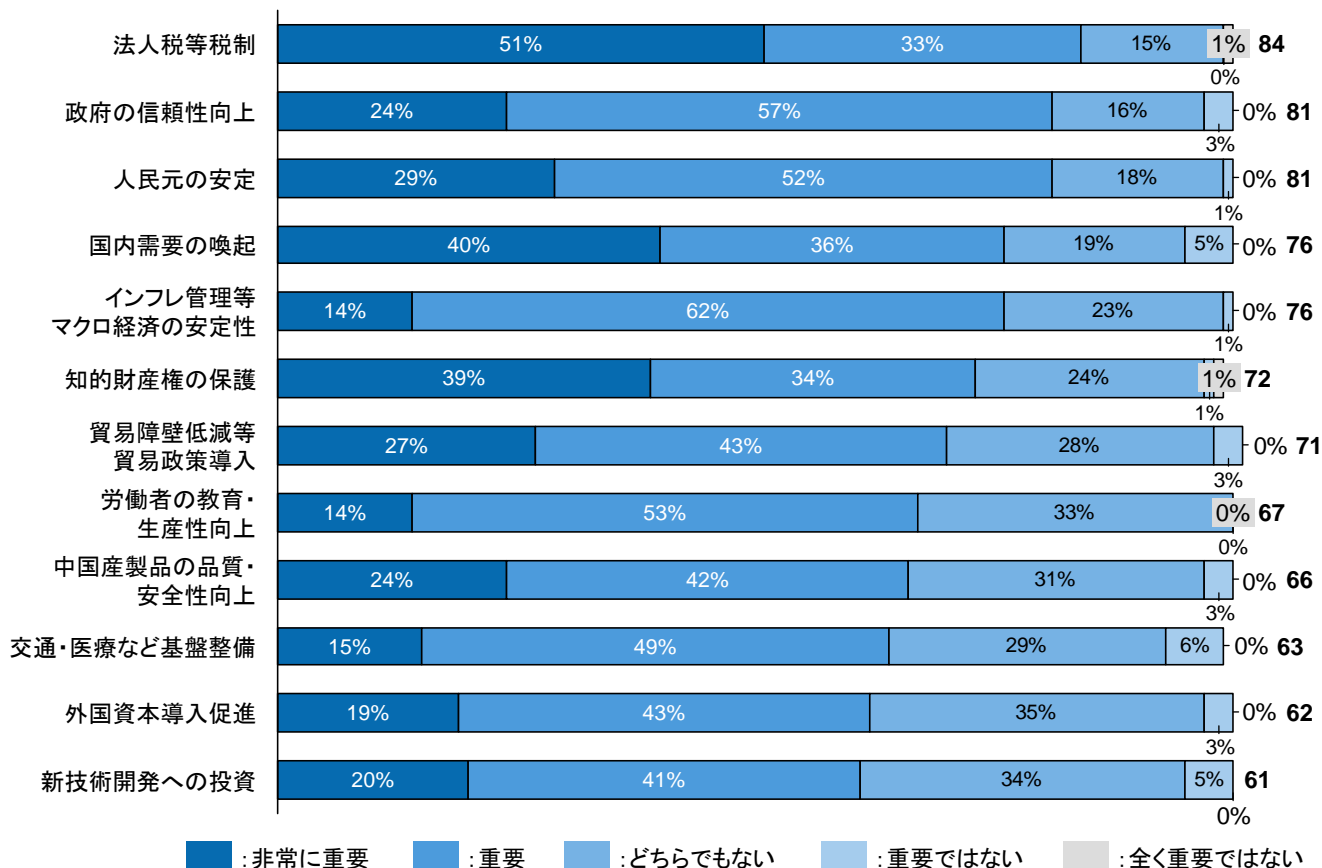
【費用が上昇した項目】



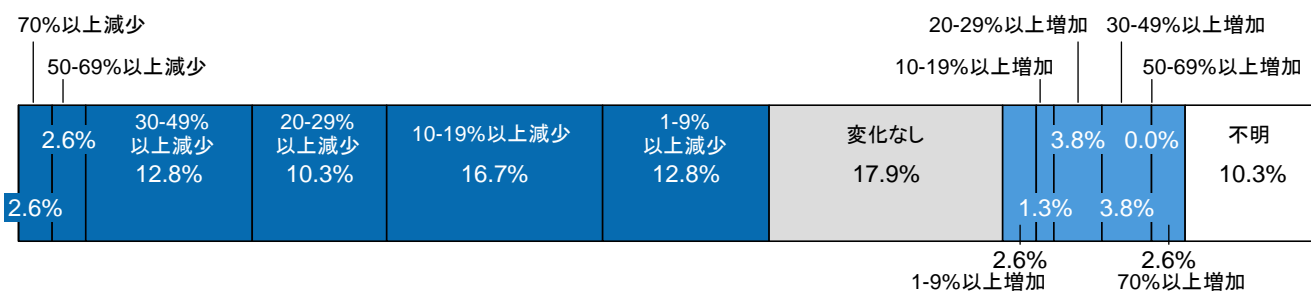
【費用上昇への対策】



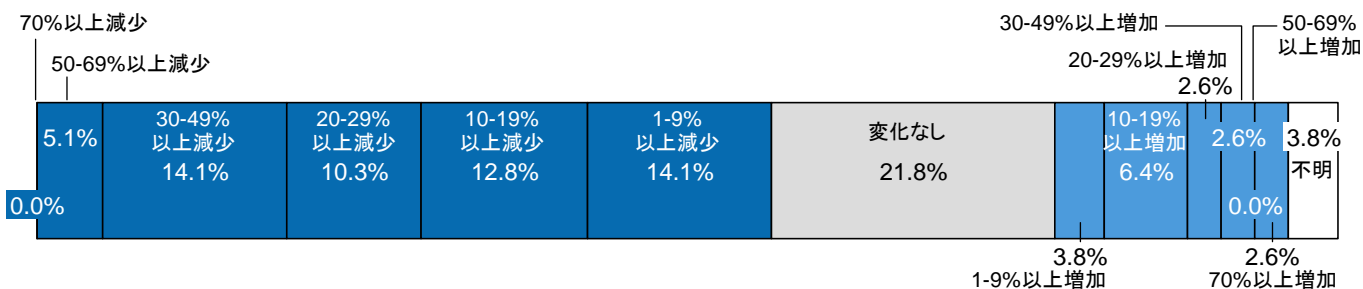
【中国でのビジネス遂行にあたって重要となる中国政府の経済政策】



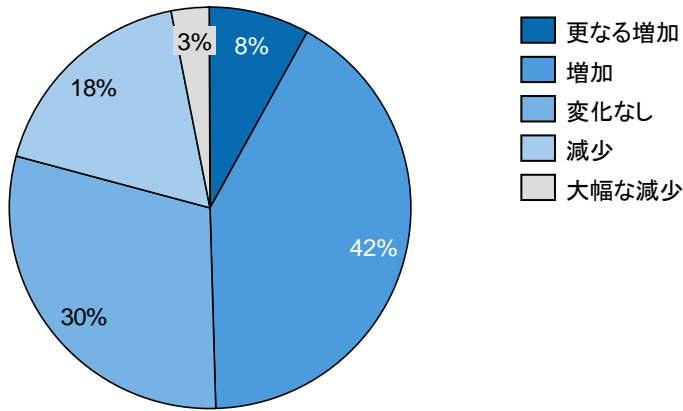
【経済危機の影響①】輸出への影響（2008年第4四半期 昨年同期との比較）



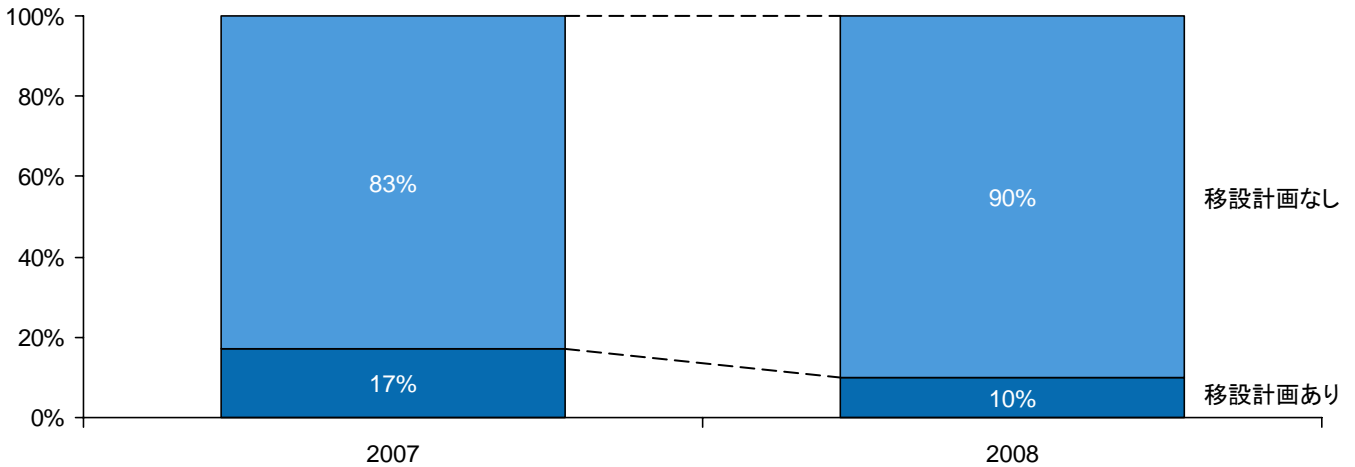
【経済危機の影響②】国内生産への影響（2008年第4四半期 昨年同期との比較）



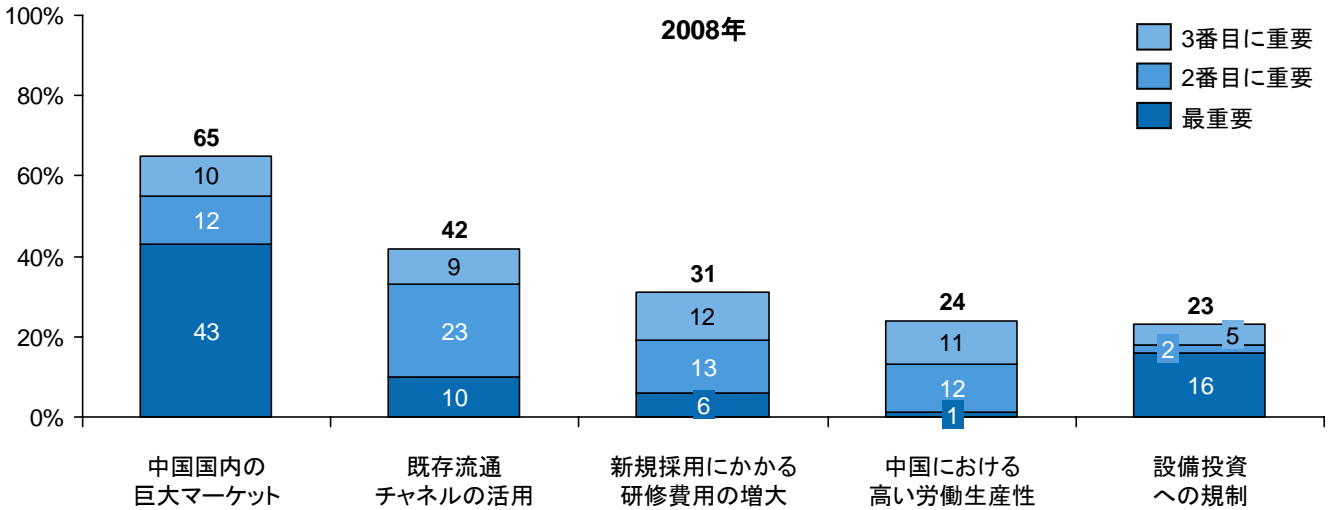
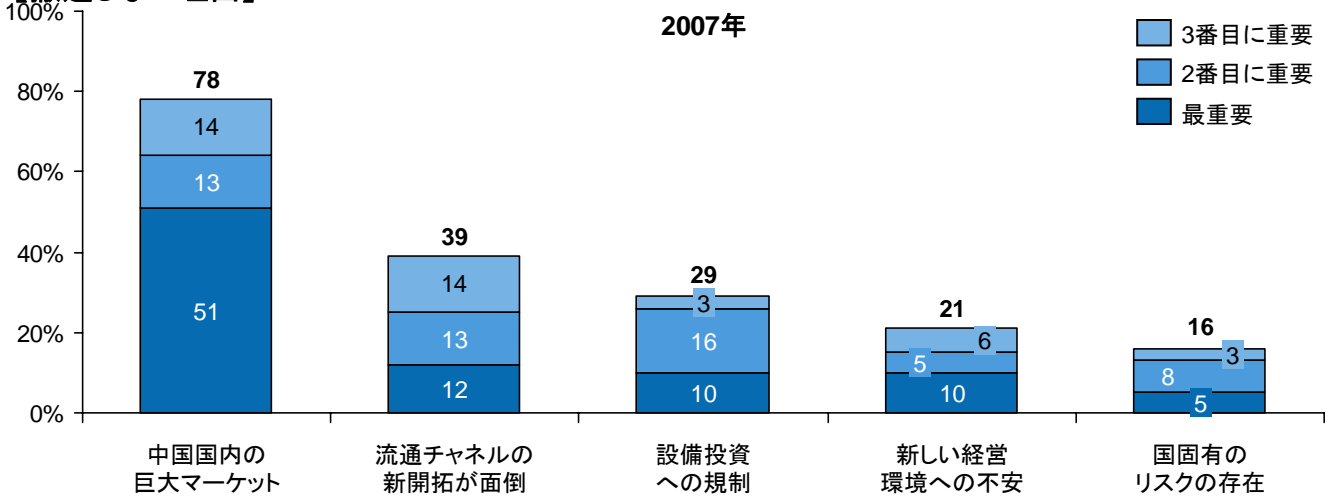
【経済危機への対応として今後1～2年のうちに中国での生産能力を変更する予定はあるか】



【今後5年以内に中国外での生産拠点の移設もしくは拡大の計画があるか】



【撤退しない理由】



【経済危機に対する企業行動の差】

経済危機に対して、労働力や原材料費の節減といった生産面の動機と巨大マーケットへのアクセスといった販売面の動機の二つの動機を有する企業と、一方の動機のみを有する企業の行動には違いが見られる

